

2019-9-1
No.1044 500円

思想運動

韓国からの呼びかけに触発されて 1~3面
香港の反中国デモの意味するもの 4面
安倍政権の有志連合参加を許すな 6面
米国のベネズエラ全面封鎖糾弾！ 7面
HOWS夏季セミナー・労働問題講座から 8~9面
あいちトリエンナーレ問題について 10面



韓国の民衆共同行動が主催した「日本政府の経済報復を糾弾するキャンドル集会」で「NO安倍」「日本は謝罪せよ」の大型プラカードを掲げ、これも大型の旭日旗を突き破るパフォーマンスを繰り広げているキャンドル集会参加者たち(8月20日、ソウルの旧日本大使館付近の「平和の碑」の前)

韓国からの呼びかけに触発されて

否定すべきわれらの敵は二つにして二つ

土松克典(韓国労働運動研究)

日韓間の軋轢がつつくによる文プロレタリア国
か、われわれと長年交流の 際主義のために」が掲載さ
ある韓国の労働社会科学研 究所が発行する月刊誌「情
勢と労働」第二五三号(二〇 一九年七月八日併号)の巻
頭、金解人・編集出版委 員長以下、金解人委員長
による文プロレタリア国 統一連合(以下、韓統連)が
呼びかけた日本首相官邸前抗 議行動が行なわれた。そこ
に「韓国からの呼びかけに 触発されて、日本のこんちの 状況、色どりの旗や最
近韓国の安倍糾弾集会でよく 見られる「NO安倍」のプ
ラカードを手にした二〇〇人 近い労働者・市民が集まっ
た。冒頭の韓統連・孫亨根 議長は八月下旬にさかのほ
ろ。 日本が韓国に対する経 済報復措置を発表するな
ら、韓統連が文在寅政権の

八月の首相官邸前で

八月八日に在日韓国民主 合間に韓統連メンバーのケン
ガリ(鉦)とラク(太鼓)に 合わせた抗議のシンプレヒ
ールが繰り返され、最後に韓 統連の日本政府への抗議文が
読み上げられた。この韓統連 し、そうした報道姿勢は大き
な間違いであることを指摘し
ておく。

八月の首相官邸前で

わたしもその場に参加するな かで、友誼団体の発言のひと
つが気にかかった。それは
「このプラカードを見ても分
かぬ。韓国のみならずは決し
て反日ではありません。NO
安倍!」という発
言に賛同して、すかさず「そ
うだ!」の声をあげてよいの
か。たしかに毎週土曜日に
ソウルの光化門広場で行なわ

ある署名運動に思う

この行動の二週間前の七月二 十五日、インターネット空間
に「日韓関係の悪化を憂慮す
る有志」七八人による「韓国
は『敵』なのか」という声明
が発表され、それに賛同者を
募るオンライン署名運動が呼
びかけられて賛同者は八月十
五日の第一次締切で八四〇四
人(のぼっている)オンライン
署名運動は八月三十一日まで
で継続。その公表されてい
る呼びかけ人・賛同者リスト
をみると、且ろわれわれの
活動に理解を示し協力してく
ださっている方がたの名前も
散見される。だがわたしはこ
こでも、しかし、と思つた。
この声明で提起されている内
容は、一九九八年の金大中
大統領訪問時に当時の首相小
淵と金大中大統領のあいだで交
わされた「日韓パートナーシ
ップ宣言」の土台に立ち返っ

は、これまでの国家一辺倒の 造化する非正規労働者や国外
から流入して行く移住労働者
の実態も見てきた。だからこ
その延長上に展開されよ
うとする日韓投資協定や日韓
FTAなどの日韓関係におけ
る資本主義的近代化の道に全
力であつてきたのである。
したがって、この度の韓国政
府からのGSOPIA終了表
明を受けて、外相野田は「現
下の地域安全保障環境を完
階級・人民も同じであらう。

考えぬく姿勢を持って

で明らかになつた、日本ナシ
ヨナリスムは事あらばその刃
を朝鮮人民にむけてきた歴史
の教訓をわれわれは決して忘
れてはならない。そして、そ
れが決して過去のことでなく
く、現在も安倍政権のもとで
培養され蠢動していること
は、昨年二月二十三日未明に
起きた、名の右翼活動家によ
る朝鮮総聯本部銃撃事件をみ
ても明らかである。

このように見てくると、日本
労働者階級・人民の歴史認
識、植民地主義意識をどのよ
うな方向で克服していくのか
が、いまわれわれに問われて
いる。そこでわれわれは立ち
止まって、①日本と朝鮮半島
の支配・被支配の歴史を考え
ると、②日本と韓国とアメ
リカ合衆国を結ぶ資本主義体
制の形成過程と現在を考える
こと、さらには、③朝鮮半島
の分断状況に終止符をうち、
いかにしたら南北朝鮮の自主
的統一を成し遂げる事業の促
進にむけて日本労働者階級・
人民として寄与できるのか、
これら三つを考へぬいて行
動すること、行動しながら考
えぬこと、いま、われ
われ日本の労働者階級・人民
に問われている姿勢なのだ。

まさに、労働社会科学研究所
の機関誌『情勢と労働』の意
句(キャッチ・コピー)が
大震災における朝鮮人虐殺
(二面)(二面)

た。新たな日韓関係の樹立

が、この間の日韓関係は非常

に硬直した関係を継続してき